

新聞 賣 讀

1993年(平成5年) 4月14日 (水曜日)

社会

13版☆ (24)



「彼が果たせなかったフルマラソンの夢。残りをみんな走って完走させよう」

奈良市中登美ヶ丘二、登美が丘カトリック幼稚園園長、トニ・クリンさんの著書「小さな手のひらに地球を」という本が、企画した出版社から送られて来ました。中に一枚の案内がありました。△三月に五十四歳で亡くなった走

友、山本広志さんの初フルマラソン完走ランニング参加のお誘い」と題する一文です。登美ヶ丘は大阪、奈良のベツドタウンとして開発された町。すでに二十年以上がたちますが、ここにこの幼稚園を中心にした父親たちの会があります。「登美が丘カトリッククラブ」といいます。園児の父親たちが始めた集まりですが、子供が卒園後もテニスにランニングにと同好者を募って楽しんでいきます。山本さんは会発足時からのメンバー。毎週日曜の早朝、クラブの仲間と走るのが楽し

亡き走友の夢 残り5周

みで、夢はフルマラソン出場。それが口ぐせでした。

人となったのです。

会社から独立して二年、始

先月七日、ついに大阪市の長居公園周回コースで行われたフルマラソン(十五周)に仲間と初めて挑戦。でも「走り込みが不足しているから」と十周を目標にスタート。予定通りあと五周、十四

「最初で最後になっ



「最初で最後になっ

ました。ピットを傾けての反た彼のフルマラソン。みんな省会では、仲間たちに「次回で完走させよう」と話がまとは自分も是非完走したいと、元気に話していました。それが六日後、風呂に入ろうとしていて倒れ、そのまま帰らぬ十分にスタートします。